

地域における 在宅医療・介護連携の 協議の場の構築について

ファシリテーター 岐阜県医師会 常務理事

佐 竹 真 一

本日のゴール

目的

令和8年7月からの

「協議の場」

本格稼働に向けた

準備のスタート

本日のゴール

各地域の現状を共有し、

4月～6月の間に

「誰が・何をすべきか」

の具体的なアクションを

持ち帰る

令和8年7月協議開始に向けて、今日から一步を踏み出しましょう！

グループワークの進め方とルール



グループワークのルール

- 1 行政・医師会・多職種、それぞれの立場と視点を尊重して話し合しましょう
- 2 「できない理由」ではなく「どうすればできるか」を考えましょう
- 3 時間を意識して進め、全員が発言できるよう心がけましょう

まずは自己紹介をしてから、ワークシートのQ1・Q2をグループ内で共有してください

Q1 あなたの地域には、現在どのような会議体がありますか？

- 市町村単位の在宅医療・介護連携推進協議会
- 二次医療圏単位の研究会（在宅医療・介護連携推進圏域別研究会など）
- その他の会議体

Q2 現在の会議体で、現場の課題は十分に議論できていますか？

機能している点

看取り・急変時対応・情報共有など、うまくいっていることをグループで共有してください。

不足している点

本音の議論ができているか、多職種が参加できているかなど、課題・不足を率直に共有してください。

ワークシートのQ3・Q4をもとに、グループで議論してください

Q3 あなたの地域で今後最も強化すべき機能は何ですか？

グループ内でそれぞれの地域の状況を共有し、最も優先度の高い課題を話し合しましょう。

例： 入退院時の支援 / 在宅医療の提供体制 / 介護施設との連携 / 多職種間の情報共有

Q4 その課題を解決するために、最も効果的な協議の圏域はどれですか？

市町村単位

地域に密着した課題の解決に

複数市町村・保健所単位

単独では取り組みにくい課題や
市町村をまたぐ対応が必要な場合

二次医療圏単位

入退院支援など
広域的な調整が必要な場合

Q5 令和8年4月～6月に、あなたが最初に行う具体的なアクションは何ですか？

ワークシートQ5に記入したら、「**個人の宣言**」としてグループ内で一人ずつ共有しましょう。

記入例 未設置の市町村へ協議会設置を働きかける / 既存会議のメンバーに多職種を追加する
地域データを確認して課題を整理する / 担当者と来週中に連絡をとる

スケジュールを確認して、具体的な「いつ・誰に」を決めましょう

令和8年4月～6月

協議の場の開催に向けた体制整備 → 今日決めたアクションを実行する時期です

令和8年7月

協議の場 スタート

7月に間に合わせるために - 来週、誰に連絡をとりますか？ どの会議で議題に上げますか？

皆様の地域での

具体的な「一歩」が、

岐阜県全体の在宅医療・介護連携体制強化に繋がります。

本日は活発なご議論をありがとうございました。